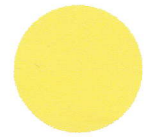




# 徳成寺 寺誌かわら版 第153号 2019年9月



いつもありがとうございます。住職の大山です。

去る8/24に、大学時代の先生・岩松研吉郎慶大名誉教授

が亡くなりました。先生は「磯野家の謎」を書かれベストセラー

になりました。ちょうど秋の法要の日がお通夜であり、翌日がお葬式。

あいにく私は参列することができませんでしたが、こんなこともあろうかと

今年の3月に岩松ゼミのOB・OG会に参加し、卒業以来30年ぶりの再会を

果たしました。お世話になった御礼を申し上げ、お土産のさぬきうどんを

手渡すと、「大山、よく来たな！」と仰って下さいました。それが先生と

交わした最後の言葉になりました。直接お会いできた満足感で一杯でした

待っていてもダメなのです。思いを伝えるのは今日しかありません。

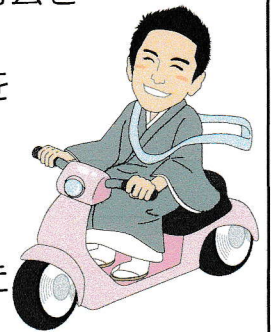
発行責任者

住職

大山健児

坊守

大山なほみ



## 大山超世の耳を澄ませば

いつもお世話になっております。長男です。この度のお盆参りで参らせていただいたご門徒様、大変お世話になりました。ありがとうございました。

今年のお参りは超大型台風が接近しているということでヒヤヒヤしましたが、お陰様で目立った被害もなく、昨年よりも楽にお参りができた印象でした。さて、お盆が明けて一段落した翌週、前回のお便りでおススメされたうどん屋さん、高松美山ホテル内の「讃州めんめ」さんに行ってみました。その日もジリジリと肌を焦がすような暑さだったので、おろしきのこぶっかけうどん、そして珍しい山芋の天ぷらとイワシの天ぷらを頂きました。

お便りの中に記されていた通り、安価で美味しい天ぷら、コシの強いうどんがとても美味しかったです。薬味はセルフサービスなのですが、チェーン店では中々出会うことができないカットしたすだちが置いており、思わず顔がほころびました。皆さんも是非ご賞味ください。

